

人手がかかると作業をプリンターが代行！ 導入企業の選択ポイントと効率化の方法を探る

社内の印刷にかかわる作業をもっと効率化できないものか。ポリリウムのあるプリントやページ数の多い資料作成などを内製化している企業には、こんな悩みがあるはずだ。印刷の速度はもろろん、資料のステープル止めや封入・封かん作業など、手作業がまだまだ多い。こうした課題を解消し大きな導入効果をもたらしているのが、理想科学工業の高速フルカラープリンター「オルフィスGD」である。導入した企業はオルフィスGDのどのような点を評価しているのかを探ってみよう。

高速印刷と低単価に加え 高精細なカラー再現性も好評

「オルフィスシリーズ」は2003

印刷物づくりにかかわる困った、 なにかならない？

- ・カラーの方が見やすいけど、単価が気になる…
- ・会議書類をステープル止めするのは時間がかかる
- ・専用の帳票用紙、コストがかかる
- ・きめ細かいDMを出したいけど、封入ミスが心配

年の登場以来、オフィスプリンターで「世界最速」を更新している。最新機種種の「オルフィスGD」は、毎分160枚を実現した。加えて、印刷単価もフルカラー1枚あたり1・44円、モノクロ1枚あたり0・50円と非常に安価。高速プリンターとして圧倒的な優位性を持っているのである。

オルフィスを検討する企業がまず注目するのは、やはり印刷速度。理想科学工業 営業統括部 ORP 統括課長の中川氏は、「実機をご覧いただいたお客様は、印刷スピードに驚かれます。製品を一定期間お貸し出しして試験運用していただくと、さらに実務中での効果を深く実感されるようです」と説明する。

「オルフィスGD」によってカラーの印刷コストを大きく抑えられることから、従来はモノクロで我慢していた販促チラシ、顧客向けの提案書、社内の会議資料等々をカラー化し、視覚効果を高めて成果を上げている事例も数多くある。

プリンターの使いこなしで 生産性を高めよう



帳票出力用途で多数の導入 枠線と個別データを同時印刷

導入目的で見ると、「オルフィスGD」はチラシや書類印刷に次いで請求書や納品書など定期的に発行する帳票類の印刷用途が多い。あて先ごとに異なるデータを印刷するバリアブルプリントが可能なのか、帳票の定型フォームと可変データを白紙に同時印刷できるフォーム合成機能を実現できるのも、帳票印刷の効率化に大きく貢献している。専用紙が不要となればコスト削減効果も大きい。

中川氏は、「一般企業はもとより、物流倉庫で用いるピッキングリスト、自治体での住民向けの個別案内、医療分野では健康診断の結果出力で使われています」と、様々な業種への広がりを語っている。

オフィスでも便利に使える 各種オプションを提供

さて、「オルフィスGD」は印刷前

オルフィスGD 選ばれるポイント

①内容が異なる帳票類を 白紙にフォームごと印刷できる

- ・帳票専用紙不要
- ・封かんまで一気に行うことも可能*



②会議資料のステープル止め*や 折り加工*までスピーディー

- ・資料の準備時間が大幅減
- ・冊子印刷もできる*



★オプション装着時

事例 「オルフィスGD」を 選択した食品メーカーの例

通販の送り状作成で手間とコストを大幅削減 配送時の温度変化でもにじまないインクも便利

冷凍商品の通信販売を全国に向けて行っている宮崎県の会社では、お歳暮や寒い時期の贈答品として注文が増える、冬場の約3カ月間、受付・発送業務に追われる日が続く。商品に貼付する送り状の印刷は1日1000枚にのぼることもある。オルフィス導入前はレーザープリンターを活用していたが、シール紙を用いた送り状は印刷時の熱でシール紙の糊がはがれ、頻りに紙詰まりが起ってしまうため、稼働中は社員がつきっきりで監視し対処しなければならなかった。

そこで「オルフィスGD」を導入。1000枚の印刷がわずか15分という速さはもちろんのこと、熱を使わないインクジェット式印刷ゆえにシール紙にも対応可能なことが採用の決め手になった。

また、「オルフィスGD」は油性インクを使用しているため、雨天時や商品の温度変化による水漏れがあった場合でも送り状の文字が滲むことがなくなり、商品配送時の懸念の1つが解消できたという。

さらに利用用途を広げ、外注していたカラーの商品チラシを内製に切り替え、顧客の注文履歴や属性に応じて内容を変えるなど柔軟なチラシ作成を行っているそうだ。

後の作業を効率化できるオプションが充実していて拡張性があるのも特徴。その中で、特に装着率が高く利便性も評価されているのが、スキヤナーとオフセットステープル排紙トレイである。

スキヤナーは、片面でも両面でも毎分100ページのスキヤンおよび毎分70ページのコピーが可能。オフセットステープル排紙トレイは、オフセット排紙もしくは最大50枚のステープル止めを自動化でき便利なお手軽なコンパクトサイズ。いずれも、会議資料作成や社内文書のコピー・まとめなど一

般オフィスでも頻度の高い作業の効率化に貢献する。

中川氏は、「最初は特定部門の課題解決のために導入した「オルフィスGD」を、複数の部門で共用する、外注していた印刷物の内製化のために使用するなど、活用範囲を全社に広げていくお客様も少なくありません」と話す。

導入した企業の多くが、採用時の評価・期待を大きく上回る手応えを運用において掴んでいるのである。オルフィスの活用で業務の効率を上げれば、働き方改革推進にも役立つだろう。



オルフィスGD (スキヤナーとオフセットステープル排紙トレイ装着)

*1: オルフィスGD9630/9631の場合。A4普通紙片面横送り、標準設定連続プリント、GDフェイスダウン排紙トレイ使用時。2016年9月現在販売の枚葉(カット紙)オフィス用カラープリンターにおいて世界最速(当社調べ)。
*2: A4普通紙片面、RISO GDインクF使用時。カラーは解像度300dpi、測定画像にISO/IEC24712に定めるパターンを使用し、ISO/IEC24711に基づく測定方法によって算出。モノクロは解像度600dpi、測定画像にISO/IEC19752に定めるパターンを使用し、ISO/IEC24711に基づく測定方法によって算出。用紙代別。
*3: A4横送り、300dpi、PDF設定時。
*4: 理想用紙IJ(85g/m²)使用時。用紙重量265g以下。ステープル時のプリント速度はA4横10枚で45枚/分。

お問い合わせ先

RISO
プリンターの新領域をひらく

理想科学工業株式会社
東京都港区芝5-34-7 田町センタービル
●お客様相談室
TEL 0120-534-881

URL www.riso.co.jp